

平成30年 2月 8日

磐田市議会議長 増田暢之 様

会派名 志政会
代表者 寺田幹根

会派視察研修等報告書

会派視察研修等の結果について、磐田市議会政務活動費の交付に関する規則第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

期 間	平成30年 1月 22日(月)～ 30年 1月 24日(水)
視察先 研修会 日 程	(1) 1月 22日 (月) 時間13:30 ～ 15:30 (2) 1月 23日 (火) 時間10:00 ～ 12:00 (3) " 時間13:00 ～ 14:30 (4) 1月 24日 (水) 時間10:00 ～ 12:00
参 加 議 員	寺 田 幹 根 ・ 増 田 暢 之 ・ 岡 實 高 田 正 人 ・ 絹 村 和 弘 ・ 芦 川 和 美 草 地 博 昭 ・ 永 田 隆 幸 ・ 小 柳 貴 臣 鳥 居 節 夫 ・ 小 池 和 広 ・ 秋 山 勝 則

<p>調 査 事 項</p>	<p>会派で他県他市の現状や施策を知ることで、磐田市の現状を把握し課題を得る</p> <p>(1) 1月22日(月)新潟県三条市 一ノ木戸ポプラ学園 ◇小中一体校の取り組みについて ・三条市の「小中一貫教育」の概要 ・義務教育学校に移行する取組みと考え方 ・一ノ木戸ポプラ学園の取組みと現場視察 ・三条市のコミュニティスクール</p> <p>(2) 1月23日(火)富山県富山市 ◇富山型デイサービス ・富山型デイサービスの特徴と効用 ・富山型デイサービスの仕組み ・行政との連携の経緯と富山市の支援内容 ・富山型デイサービスの課題と方向性 等</p> <p>(3) 1月23日(火)富山県富山市 ◇富山市の中心市街地活性化 ・富山市の中心市街地活性化の概要 ・棚まちづくり とやまについて</p> <p>(4) 1月24日(水)福井県福井市 ◇空き家対策、多世帯支援について ・福井市の「空き家状況」について ・空き家等実態調査について ・空き家抑制政策の取組みについて ・多世帯支援の行政の取組みについて 等</p>
<p>調 査 内 容 考 察</p>	<p>別紙のとおり</p>
<p>(注) 視察研修の調査内容及び考察は、視察先ごとに詳細に記入する。 調査事項等に係る資料等を添付する。</p>	

平成30年 1月22日(月) 13:30~15:30

『新潟県三条市』の概要

人口 99,727人、面積431.97km² (平成29年3月31日現在)

平成17年5月1日に三条市、栄町、下田村、が合併し、新「三条市」が誕生した。新潟県のほぼ中央に位置し、上越新幹線や北陸自動車道、国道8号、289号、290号、403号、などの交通網が整備されている。

【調査内容】

小中一体校の取り組みについて

教育制度等検討委員会設置 (平成19年1月から平成20年2月まで)

教育制度等検討委員会最終報告を答申 (平成20年2月)

小中一貫教育検討委員会設置 (平成20年8月から11月まで4回開催) 三条市小中一貫教育基本方針を策定 (平成20年11月)

三条市教育委員会内に小中一貫教育推進室設置 (平成21年4月)

三条市小中一貫教育推進委員会設置 (平成25年1月)

三条市小中一貫教育推進指針を策定 (平均25年3月)

三条市教育委員会内に小中一貫教育推進課・教育センター設置 (平均25年4月)

<併設型 小・中学校>

一ノ木戸ポプラ学園 (第二中学校・一ノ木戸小学校)

平成25年8月 三条市第二中学校の隣に一ノ木戸小学校を建設 職員室等の施設 (別々)

三条嵐南学園 (第一中学校・嵐南小学校)

平均26年4月 3小学校を統合し嵐南小学校を開校、
第一中学校との一体校を建設 職員室等の施設 (併用)

<義務教育学校型>

大崎学園 (大崎中学校・大崎小学校)

平成30年4月開校 (大崎小学校の隣に中学校棟を建設)
職員室等の施設 (併用)

三条市が進める「小中一貫教育」

社会を担う「生きる力」を持ったたくましい子どもを育てる教育環境の「しかけ」が必要。

「小中一貫教育」の導入のねらい

- (1) たくましく、健やかに生きる力の育成。
- (2) 心身の発達を考慮した見通しのある連続性の確保。
- (3) 中学校区で一体となった教育環境づくり。

【考 察】

平成19年1月に教育制度等検討委員会を設置し、平成20年2月には教育制度等検討委員会最終報告の概要版を全戸に配布し中学校区ごとに学校説明会、地域説明会を行うなど、三条市が進める小中一貫教育の理解を広く市民に求めることが出来ていると感じました。また、三条市小中一貫教育基本方針案（次代を担う心豊かな子どもたちをはぐくむために）の中に、小中一貫教育のモデルとして①連携型（敷地は別々の小・中学校で、教員や生徒が移動して学習、活動をする。）②併用型（小学校高学年の児童が中学校の校舎で週に何時間か学校生活を送る。）③一体型（同じ敷地内で小学校1年生から中学校3年生（9年生）が共に学校生活を送る。）などの段階的な対応が取れていて、どの中学校区も①の連携型から取り組み、連携の方法、移動手段について検討し、各中学校区の実態や課題に合わせて無理のないモデルプランを作成していました。磐田市も平成33年4月に＜磐田市ながふじ学府＞の開校が予定されているなか、市が一体となった三条市の一貫教育の考えや、一体校への地域の理解の進め方などを参考に、磐田市の進める小中一貫教育・一体校の考えを市民に周知し、今後の磐田市全体の地域との連携が必要だと強く感じました。

報告者 秋山勝則

平成30年1月23日(火) 10:00~12:00

【調査内容】富山型デイサービス

『富山県富山市』の概要

人口417,633人、総面積1,241.77Km²。(平成29年3月現在)
平成8年に中核市に移行し、平成17年には、富山市・大沢野町・大山町・八尾町・婦中町・山田村・細入村が合併し富山市となった。
日本海側のほぼ中央に位置、富山湾・北アルプスと多様な地形と雄大な自然を誇る。古くから「くすりのまち」として知られ、多様な文化・歴史を持つ中核都市である。公共交通を軸とした拠点集中型の都市構築を進めている。
都市データパック 住み良さランキング総合36位

●富山型デイサービス

富山型デイサービスは、平成5年に富山赤十字病院を退職した3名の看護師が開設したデイサービス「このゆびと一まれ」が始まりであった。(当初は、介護保険もなく自主事業1回2,500円にて行っていた。)

このゆびと一まれば、赤ちゃんからお年寄りまで障がいのあるなしに関わらず受入れした。代表の惣万さんは、以前老人ホームで、まるで生きる気力を無くしているかのように無言で過ごしているお年寄りを見て違和感を感じました。

子どもと一緒に笑ったり、怒ったり、歌を歌ったりすることは、どんなりハビリよりも良い。子どもがいればハビリなんて必要ないと考えたのでした。

「富山型デイサービスの特徴と効用」

- ①小規模 一般住宅をベースとして、利用定員は15人程度であり家庭的な雰囲気
- ②多機能 高齢者・障害者(児)・乳幼児など利用者を限定せず受け入れ対応する。
- ③地域密着 身近な住宅地の中に立地しており、地域との交流が多い。

「富山型デイサービスの仕組み」

定員の中で、高齢者含め身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者・障がい児・乳幼児(法定外・実費)基準該当事業所として登録申請をする。

基準該当事業所とは 指定障害サービスの基準は満たしていないが、介護保険事業所の基準を満たす事業所。

富山市の基準該当事業所登録要件

- 身体障がい ①介護保険の指定介護の指定を受けている事
- 知的障がい ①介護保険の指定介護の指定を受けている事
- 精神障がい ②次のいずれかの要件を満たしている事
- 障がい児 } ・指定生活介護事業所その他関係施設からの技術的援助を受けている事
・精神の場合は、精神科医との協力契約
(他の富山型デイサービスとの業務提携など)
・3か月の受け入れ実績(無料での受け入れ)
・常勤職員の中で、介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・理学療法士・作業療法士・看護師・保育士・ヘルパー1級2級の資格及び実務経験を有すること

「行政との連携の経緯と富山市の支援内容」

- 平成5年 「このゆびと一まれ」開所
平成8年 富山市在宅障害者（児）デイケア事業開始により連携スタート
平成9年 富山市民間デイサービス育成事業（高齢者）開始
平成10年 富山市民間デイサービス育成事業拡充（障がい者）
平成14年 富山型デイサービス起業家育成講座
平成17年 富山型デイサービス職員研修会
富山型デイサービス施設支援事業（新規事業所立ち上げの施設整備に補助・既存住宅活用の施設整備費を補助）
平成18年 富山型福祉サービス推進特区の認定（県、2市1町）
平成22年 生活介護が特区内の特例から全国での適用へ
平成23年 短期入所が特区内の特例から全国での適用へ
平成25年 児童発達支援・放課後等デイサービスが特区内の特例から全国での適用へ
平成27年 富山型デイサービス施設人材確保育成事業
平成28年 自立訓練が特区内の特例から全国での適用へ

「富山型デイサービスの課題と方向性」

- ①事業所の報酬が、指定事業所よりも低い。
算定モデル定員20人（富山型は高齢者10名、障がい者10名）
高齢者サービス 23万8千円
障がい福祉サービス 21万2千円
富山型デイサービス 19万2千円
②平成27年4月から、基準該当事業所の送迎加算がなくなった。

今後は、県内200カ所、各小学校区に1カ所の富山型デイサービスを目標に進めている

【考 察】

介護保険対象高齢者だけでなく、障がい者（児）や子供も一緒に過ごすデイサービス。全国的にも広がりを見せ、認識はしていたが視察してその経緯に驚かされた。一つのNPOや地域が、市や県や国を変えていっている。システムではなく理念。始められた方の想いや行動力が変えている。

平成5年 民間の1事業所から始まった、富山型福祉サービスは全国に広がり平成27年には、富山県内121カ所全国1,498カ所にまでなった。

磐田市においては、ふじの国型福祉サービスとして共生サービスが進められているものの、事業所は少なく広がっていない現状がある。

磐田市として何ができるのか、検証が必要である。

富山市は、デイサービスだけではなく『共生社会』への取り組みが進んでいる。地域包括ケア拠点施設「まちなか総合ケアセンター」を整備し、訪問診療に特化した「まちなか診療所」や産後の体と心の回復支援を行う「産後ケア応援室」、お迎え型病児保育事業「病児保育室」、発達の遅れを支援する「こども発達支援室」が配置され大きく包括的。磐田市においても大きな視野で包括的な展開を期待したい。

会派視察研修等報告書 平成30年1月30日

報告者 小柳 貴臣

【日程】平成30年1月23日(火) 13:00~14:30

(1) 富山市の「まちづくり・にぎわいづくり」

【調査内容】

『富山県富山市』の概要

富山県の県庁所在地で人口約41万8千人、世帯数約16万9千世帯
北陸最大の工業都市で、古くは富山藩の城下町で富山売り薬など独自の産業で栄えた。
現在では陸・海・空の機能が充実した北陸地方の中核都市です。

★視察先の「(株)まちづくりとやま」の概要

富山市が平成11年に策定した「富山市中心市街地活性化基本計画」に基づいて、広域都心と生活都心の調和する賑わい溢れる中心市街地の再生を目指し、平成12年7月に富山市を始め富山商工会議所、富山市中心地区に位置する商店街組合や商業者を中心とした中小企業者などの出資による第三セクターのタウンマネジメント機関として設立された。

会社組織の中にコーディネータを採用、従業員数は約50名
資本金 30,000千円

【考察】

磐田市と、県庁所在地である富山市のまちづくり政策では、あまり比較の対象にはならないと思っていましたが、

- ・商店街の空き店舗問題
- ・郊外型ショッピングモールの進出
- ・商店街の高齢化、後継者問題

など、磐田市と同じような問題や商店街の閑散とした雰囲気など、似た所が多くありました。

磐田市は駅前広場や市営駐車場、そしてこれから開かれる新しい店舗など、にぎわいづくりの環境が整いつつありますが、リーダーとなる人材を発掘する事ができていません。常時活動ができ、リーダーシップの取れる団体や個人が必要であり、また磐田市にある静岡産業大学・農業大学校・東海福祉専門学校の学生さんや地域の若者の力と発想力が必要と感じました。

富山駅に隣接した場所にこども図書館があり、子育て支援政策にも力を入れている市である事も感じられました。磐田市にも駅周辺に子育て世代の人達が集う場所があれば、また一つまちのにぎわいづくりの方策に繋がると考えます。

視察を行えば行っただけで新しい課題が生まれますが、それと同じくらい解決策も見つける事ができます。視察を通して改めて市民の代表としての責任の重大さを痛感しました。

報告者 小池 和広

【日程】平成30年1月24日(水) 10:00~12:00

【調査内容】

福井県福井市 空き家対策、多世帯支援について

『福井県福井市』の概要

福井市は、福井県の県庁所在地で、人口は約26万人。

1945年の大空襲、その3年後の福井大地震の被害を乗り越えて復興を成し遂げたことから不死鳥（フェニックス）を市のシンボルとしている。

九頭竜、日野、足羽の3大河川が豊かな水と豊かな土壌をもたらし、おいしいお米や野菜が作られている。さらに西側は日本海に面し、冬の越前ガニに代表される海の恵みも豊富である。戦国城下町の遺跡や現在の街並みの基礎を築いた柴田勝家など歴史遺産の宝庫といえる。

●空き家の実態調査と空き家抑制政策についての取り組み

1、福井市の「空き家状況」について

- ・第七次福井総合計画に基づき、移住定住の促進・老朽危険空き家等の適正な管理を進める。

数値目標として、管理不全の空き家等が解消された件数を

(平成27年度、76件 ⇒ 目標値・平成33年度、305件)

- ・福井市住宅基本計画で老朽危険空き家の除却推進・県外からのU・Iターン者への移住支援・空き家（中古住宅）の流通支援・空き家等の実態把握を行う。

成果指標として、空き家増加抑制件数を、

(平成25年度17,990件 ⇒ 目標値・平成38年度、28,000件)

としている。

□平成29年度4月 福井市空き家等対策協議会を設置

□平成29年度6月 福井市空き家等実態調査を開始（～9月まで）

□平成30年度内に 福井市空き家等対策計画を策定

2、空き家等実態調査について

建設部内の各所属課と宅建、不動産、建築士の団体に協力を仰ぎ、平成29年6月～9月の4か月間で調査を実施。A～Eのランク分けをする。

調査件数、7,386件、空き家数・17,990戸 空き家率16.1%

3、空き家抑制政策の取り組みについて

福井市老朽危険空家等除却支援事業 福井市空き家情報バンク

空き家ストック循環活用促進事業

- ・空き家リフォーム補助・空き家取得補助 ・U・Iターン世帯空き家居住家賃補助
- ・空き家流通アドバイザー派遣

●多世帯支援の行政の取組みについて

第七次福井市総合計画に基づき、地域の特色を活かし魅力的で活力あるまちをつくるを政策とし、事業の方向として移住定住の促進をしている。

また、福井市住宅基本計画で若年夫婦・子育て世帯への居住支援、高齢になっても住み続けられる住環境の形成、三世帯同居・近居の促進、移住定住の促進へ力を入れ、成果指標で新たに親世帯または子世帯と同居、近居するための住宅支援数を48戸（平成28年度）から平成38年度目標値を400戸としている。

住まいに関する補助事業

- ・移住定住サポート事業の多世帯への支援
（多世帯同居リフォーム支援・多世帯近居住宅取得支援）
- ・多世帯同居リフォーム支援事業
（支援件数35件、実績額2,600万円 平成27年～29年）
- ・多世帯近居住宅取得支援事業
（支援件数46件、実績額2,460万円 平成27年～29年）

【考 察】

福井市における空き家対策ですが、まず対策をするには空き家等の現状把握が必要不可欠であり、そのデータを適正管理や利活用の促進など空き家対策の基礎資料としている点、民間団体にも依頼をしての短期の4か月間で調査を完了し、条例を施行するなど、空き家抑制に本気度がうかがえる。

統計調査資料だけでなく独自で行う調査によりデータ化や目標値を設定し、より正確な適正管理をしている。

磐田市においても独自の事業などで抑制を図っている。空き家除却事業費補

助金や中古住宅リフォームに対する工事費の助成、シルバー人材センターへの委託で管理を行っているが、どこまで現状把握がなされているのか、把握状況を注視していきたい。

そして、空き家等の利活用の促進なども合わせて考えていくべきである。

□福井市における多世帯支援であるが、リフォームと近居住宅取得の2つの方向で支援をしています。磐田市では中古住宅リフォームの工事費の助成の中で3世代が同居または近居する場合20万円の加算として支援をしている。福井市が取得に関しても支援しているので市民にすれば有難いことだと思う。

今回の視察では住宅リフォームや購入に関しての支援策が主な所でしたが、多世帯の支援はまだ幅広いものだと感じている。全国的に先進事例を調査し支援策を探していきたい。